



## 「インスピレーションになろう」 BE THE INSPIRATION

2018-19年度 RI会長/バリー・ラシン RI.D2590ガバナー/金子 大 横浜旭RC会長/市川 慎二

国際ロータリー第2590地区

### 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NJTS1階/〒241-0821  
TEL.045-465-6702/FAX.045-465-6712  
http://yokohamaasahirc.cho88.com

Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル  
(株)岡田屋 3階会議室

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



被災地の子ども達にXマスプレゼント



チャリティーコンサート



ガールスカウトとクリーン作戦

2019年2月6日 第2369回例会 VOL. 50 No. 28

■司 会 副SAA 北澤 正浩

■開会点鐘 会 長 市川 慎二

■斉 唱 君が代、奉仕の理想

#### ■出席報告

会員数	30名	本日の出席数	25名
本日の出席率	96.15%	修正出席率	96.15%

#### ■本日の欠席者

福村

#### ■ゲスト

鯉淵 信也様 (横浜市教育長)

島谷 千春様

(教育委員会教育政策推進課担当課長)

加納 浩平様 (教育委員会国際教育課)

加藤眞之介様 (財団奨学生希望者)

#### ■2月誕生記念祝

佐藤 真吾会員 2.6



#### ■会長報告

皆様、こんにちは。2月の立春も過ぎ、春めいた気温と思えば、また寒い気温が続いています。私は、半そでになったりジャンパーを着たりと、暑がりなのに寒がりという面倒な自分の体質に、嫌気がさしております。

皆様も気温差にお気を付けて、お過ごしください。

さて、ロータリーの2月は、平和と紛争予防、紛争解決月間となっており、国際ロータリーが、もっとも支援を必要とする、人道的奉仕のニーズとして捉えている一つです。紛争、貧困、教育や教育機会の欠如など、当クラブとしても、あらためて考え、財団のグローバル補助金を活用した、ハードルの高い活動も視野に入れていきたいと思っております。

本日は、日本の青少年の状況から教育分野、国際的教育支援についてまで詳しい、横浜市教育長、鯉淵信也様からの卓話となります。テーマとしては「横浜市の教育分野での取り組み」についてとなります。ぜひ、多くの事を学ばせていただき、新しい奉仕活動の手がかりになればとも思います。

#### ○地区関係

2月9日～10日の一泊二日で、RYLAが開催されます。当クラブの推薦者が1名参加されます。尚、参加後にクラブへ参加報告に来

会される予定です。

#### ○クラブ関係

入院されておりました今野会員が、無事に退院され、本日出席いただきました。クラブよりお見舞いが出ておりますので、お渡し致します。



#### ■畠山重忠公 立札設置について

鶴ヶ峰区役所前にあります、畠山重忠公終焉の地の立札が老朽化し、この度北澤会員のご尽力により、新しい立札が設置されました。



#### ■職業奉仕委員会

大川 伸一

事業所訪問として3月20日(水)例会終了後に、相鉄・JR線相互乗入れ事業の羽沢工事現場の見学会を行います。参加される方は14時30分に相鉄本社前に集合して下さい。

#### ■ニコニコBOX(会員敬称略)

市川 慎二／①横浜市教育長鯉渕様、教育政策推進課長島谷様、国際教育課係長加納様、ようこそお越しくございました。卓話宜しくお願い致します。②加藤さんようこそ。③今野さん、お元気そうで何よりです。

安藤 公一／①鯉渕教育長様、ようこそお出で頂きました。卓話宜しくお願い致します。②加藤さん、ようこそ。グローバル奨学金受かる事を祈っております③今野さんのご回復

をお祝いして。

今野 丁三／2ヶ月半ぶりに皆さんにお目に掛かりました。当初お正月を越せるか心配しましたが若干頬がこけた程度で生還出来ました。今までお粥で過ごしたものですからシウマイ弁当の美味しい事！改めて感じました。

佐藤 真吾／①横浜市教育長鯉渕さま、公務多忙の所、当クラブにお越し下さり有り難うございます。②加藤さん、ようこそ。③誕生祝いをいただき有り難うございます。

吉原 則光／市教育長さん、悪天候のところお出でいただき有り難うございます。横浜市の教育事情のお話、拝聴させていただきます。五十嵐 正／①横浜市教育長鯉渕さま、本日の卓話よろしくお願ひします。②今野さん、お帰りなさい。

須藤 亘／先日は、妻の誕生祝い頂戴しました。いつもお心遣いありがとうございます。本日急遽、仕事の関係で出席だけで申し訳ありません。

二宮麻理子／横浜市教育長鯉渕様、本日はお忙しい中有難うございます。本日はよろしくお願ひいたします。

兵頭 哲夫／健康福祉局の時は大変お世話になりました。獣医師会の兵藤です。今年度は横浜市獣医師会教育委員会担当理事になりました。また、お世話になります。

大川 伸一／鯉渕さま、本日の卓話を宜しくお願ひ致します。

新川 尚／来週の卓話は足裏マッサージセルフケア講座です。安全、簡単で即効性のあるセルフケアについてです。よろしくお願ひ致します。

二宮 登／鯉渕信也横浜市教育長様、ようこそいらっしゃいました。

北澤 正浩／①鯉渕さま、ようこそいらっしゃいました。卓話よろしくお願ひ致します。②加藤様、ようこそ。

青木 邦弘／鯉渕様、今日は雨の中、ありがとうございます。

齋藤 善孝／①鯉渕様、ようこそお出で下さいました。卓話よろしくお願ひします。②今野さん、お久しぶりです。

柳沢 哲也／暖かい日、寒い日の繰り返しで差が激しいですね。本日所用で早めに離席し

ます。卓話が聴けず残念です。  
 関口 友宏／鯉淵横浜市教育長をお迎えして。  
 太田 勝典／①鯉淵教育長様、ようこそ。②財団グローバル奨学受験生、加藤さん、頑張って下さい。③今野さん、お帰りなさい。  
 宋 謹衣／今週は台湾（中国）の春節ですよ！皆様、新年快樂。  
 目黒 恵一／①次週2月13日、18時よりRC有志新年会開催いたします。宜しくお祈いします。②今野さん、お久しぶりです。

■卓話

「横浜市の教育分野での取組」

鯉淵 信也様



横浜市の教育分野での取組

2019（平成31）年2月6日  
 横浜市教育長 鯉淵 信也

1 横浜市の概況

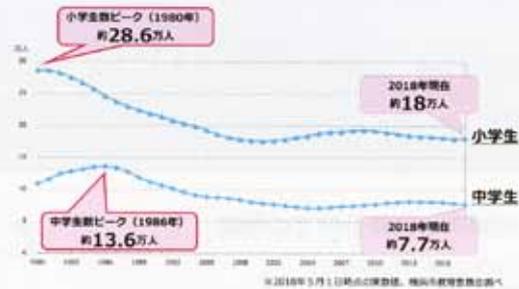
政令市最大、日本最大の基礎自治体

人口 (2019.1.1)	374万 944人	学校数 (2018.5.1)	507校	小学校	339校
世帯数 (2019.1.1)	169万 2,610世帯	児童生徒数 (2018.5.1)	約27万人	中学校	145校
外国人人口 (2018.5.1)	9万5,005人	外国籍児童生徒数 (2018.5.1)	3,415人	義務教育学校	2校
		教員数 (2018.5.1)	約1万6千人	高等学校	9校
				特別支援学校	12校



2 子どもの数の推移（これまで）

横浜市の小学生数は1980年、中学生数は1986年をピークに減少



2 子どもの数の推移（今後）

6～15歳の人口は、今後も減少が続き、2040年には、現在に比べ約2割減少の予測



3 学校規模の適正化

市西部や南部等で人口が減少し、小規模な学校が増加

対応策 市立学校の統合等による学校規模の適正化を推進



3 学校規模の適正化

小規模校対策の進め方

地域や保護者等の代表者からなる検討の場を設置

- ① 地域と十分に調整を図り、保護者や地域住民の理解と協力を得ながら、**通学区域の変更や弾力化等**を実施  
（※通学区域以外の学校を選択可能なこと）
- ② ①の取組が実施できない場合や実施によっても小規模な状態が解消しない場合は、**学校統合の検討**



### 3 学校規模の適正化

**学校跡地の活用事例**

市民利用施設	医療・福祉施設	教育施設
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域防災拠点</li> <li>公園</li> <li>コミュニティハウス 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院、地域センター</li> <li>特別養護老人ホーム</li> <li>地域ケアプラザ 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語支援拠点施設</li> <li>私立学校</li> <li>特別支援学校 等</li> </ul>
 <p>水取小学校跡地公園</p>	 <p>横浜みなみきリハビリテーション病院</p>	 <p>私立星城中等・高等学校</p>
 <p>上郷大沢コミュニティハウス</p>	 <p>よこはま国際総合福祉センター</p>	 <p>横浜みなみきたやま支援学校</p>

### 3 学校規模の適正化

市北部や臨海部等では、土地利用転換により人口が増加

**対応策** 市立学校の分離新設や増築等

● 新設・移転校



- 新設小学校 / 2016年度新設校
- 新築小学校けき学校 (小5・6年) / 2013年度新築校 (10年築)
- 子登小学校 / 2016年度新築校
- みなとみらい南小学校 / 2014年度新築 (10年築)

子どもの良好な教育環境を実現

### 4 安全・安心な教育環境の整備 ～これまでの取組～

⑥ トイレの洋式化・ドライ改修

洋式化率 80% (全国43.3%) (2017年度)

Before  
改修前



After  
改修後



子どもたちへの積極的な投資により、安全・安心な教育環境を実現

### 4 安全・安心な教育環境の整備 ～今後の課題～

人口が急増した昭和40～50年代にかけて学校施設を集中的に整備

【横浜市立小・中学校の建設年度と築年数の状況】



昭和40年代～50年代にかけて集中して整備

対称策 老朽化に伴い建替事業に着手 地域まちづくり推進の契機に

### 4 安全・安心な教育環境の整備 ～これまでの取組～

<p>① 学校施設の耐震化</p> <p>2015年度に完了</p> 	<p>② 体育館の長寿命化対策</p> <p>2005年度から開始</p> 
<p>③ 体育館トイレの洋式化 多目的トイレの設置</p> <p>2017年度に完了</p> <p>※大成模造建築が予定されている学校を除く</p>	

### 5 多文化共生を目指した教育

日本語指導が必要な子どもの増加

10年で約2倍 (全国は約1.6倍)



日本語指導が必要な児童生徒数

約2倍

### 4 安全・安心な教育環境の整備 ～これまでの取組～

<p>④ 教室への空調設置</p> <p>普通教室 2013年度に完了 (全国41.7%)</p> <p>特別教室 2019年度に完了予定</p>  <p>空調の設置</p>	<p>⑤ シャッター危害防止装置設置</p> <p>2017年度に完了</p>  <p>シャッター危害防止装置</p>
--	--

### 5 多文化共生を目指した教育

**対応策** 日本語支援拠点施設「ひまわり」の開設 2017年5月開設

平日間もない子どもや保護者の不安を軽減し、新たに転入をする在籍校で学校生活に適応できるよう支援するための施設

- 学校ガイダンス 4か国語対応
  - 保護者・子どもに日本の学校生活説明、書類の記入支援、子どもの学習状況の確認等
- プレクラス
  - 平日間もない子どもへの集中的な日本語指導と学校生活の体験の実施
- さくら教室 8か国語対応
  - 外国につながる小学校新1年生を対象にした学校生活の体験、保護者を対象にした日本の学校生活についての説明や書類の記入支援等



日本語支援拠点施設「ひまわり」

※1: 中野区、タカオ区、東区、やまししゆ区  
※2: 中野区、タカオ区、東区、太白区、はつた区、みどり区、やまししゆ区

## 5 多文化共生を目指した教育

**対応策** ①学校における日本語指導が必要な子どもへの支援

国際教室の設置  
日本語教室の実施  
母語による初級適応・学習支援  
学校通訳ボランティア

外国語補助指導員の配置  
各種ガイドブック等発行  
・「ようこそ横浜の学校へ」(7か国語対応)  
・「横浜中・高国際共生生徒教育ガイド」等



支援スタッフや国際教室の運営ノウハウの不足  
⇒ 支援体制の強化や専門性の向上が必要

14

## 5 多文化共生を目指した教育

**事例** 横浜市立南吉田小学校の取組み

約 6 割が外国籍・外国につながる子ども  
(中国、フィリピン、韓国、タイ、ロシア等 計14ヶ国)

(活動例) 運動会で7か国語アナウンス

母語支援を通じた  
アイデンティティの確立  
人権の尊重

真の多文化共生社会の実現



実施学力・学習状況調査 (2017年)	実施割合	前年度比
授業、外国へ留学したり、国際的な仕事についたりしてみたいと思いませんか?	80.3%	70.4%
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いませんか?	40.2%	33.6%

「多文化共生社会」を築いていけるよう取組を推進

15

## 7 子どもの豊かな心の育成

「本物」の文化・芸術・スポーツ等に触れる機会の創出



小学生を対象としたプロのオーケストラによる生演奏の鑑賞

情報社会が進むからこそ、  
子どもたちの豊かな感性や創造性を育むことが重要

18

## 8 中学校昼食の充実

横浜型配達弁当(ハマ弁)の実施

ライフスタイルや日々の都合に合わせた「選択制」の充実



ハマ弁



昼食にハマ弁を食べる様子

ハマ弁のメニュー例

ハマ弁のメニューの充実や当日注文の全校展開  
就学援助等対象者への無償提供の実施

19

## 6 新学習指導要領への対応

小学校の英語教科化

プログラミング教育の必修化

外国語コーディネーターの派遣  
英語オンライン研修  
外国人英語指導助手(AET)の配置

ICT支援員の派遣  
タブレット端末の導入



2020年から全面实施される新学習指導要領への移行に向け、  
万全な準備と着実な実施

16

## 9 魅力ある高校教育の推進

・横浜サイエンスフロンティア高等学校

SGH (スーパーグローバルハイスクール) 指定 (2014-2018年度)

SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 指定 (2010-2014年度、2015-2019年度)

・南高等学校

SGH (スーパーグローバルハイスクール) 指定 (2015-2019年度)



※ SGH : 国際化を進める国内大学の設計、企業、産学連携等と連携して、グローバル社会に対応を育成、研鑽し、海外に展開して活躍できる人材の育成に努むる私立高等学校を文化科学省が指定  
※ SSH : 国際的視野から先端分野の教育研究を推進するため、先進的な授業形態を実施する高等学校等を文化科学省が指定

大学、企業等と連携を回りながら  
従来のグローバル人材、科学技術系人材を育成

19

## 7 子どもの豊かな心の育成

「本物」の文化・芸術・スポーツ等に触れる機会の創出



音楽、ダンス、美術、伝統芸能分野などの  
プロのアーティスト派遣



オリンピック・パラリンピアンによる学校訪問

17

## 10 教職員の働き方改革

小学校 約34%、中学校 約58%の教員が  
週60時間以上の勤務(月80時間以上の時間外勤務)



※ 100校以上、専任教員勤務時間調査 (2019年度) (国研) (調査対象: 小学校1,498校)

看過できない教職員の業務実態

21

10 教職員の働き方改革



10 教職員の働き方改革



10 教職員の働き方改革

対応策 教職員の働き方改革プランの策定 (2018年3月)

働き方改革は、学校全体の在り方を問い直すもの  
学校経営、業務、人事、給与、研修、環境整備など、  
総合的な対策が不可欠

平成29年度  
優良良山教職員の  
給与負担等が  
風から政市へ

<4つの戦略と40の取組>

- 学校経営方針の見直し
- 留守番電話、学校閉庁日の設定
- 業務のアウトソーシング
- ICTカードによる勤務実態の把握
- 教職員フレックスタイム制度
- 職員副業アシスタント
- 部活動休養日の設定、部活動指導員の配置
- 働き方改革の視点を盛り込んだ研修開発
- ICTシステム導入による業務効率化、等

働き方改革をより加速させるため、  
教職員定数の改善・充実、専門スタッフの制度化・拡充等が必要不可欠

10 教職員の働き方改革

平成30年度 約32億円 → 平成31年度(案) 約42億円

外部人材の活用がポイント

- 職員室業務アシスタント (130校 → 全小中義務教育学校486校)  
印刷、電話受付、来客対応等、事務的な業務をサポート
- 中学校部活動指導員 (55人 → 180人)  
部活動の指導や生徒の大会等への引率、顧問への就任が可能
- 学校司書 (全小中義務特別支援学校498校)  
学校図書館の蔵書管理・環境整備、本の貸出・返却作業等
- ICT支援員 (2校 → 全小・義務教育(前期)341校)  
ICT活用した授業支援や機器の準備・操作等のサポート

地域や企業・団体の皆様のご協力、是非お願いします!

11 キャリア教育

はまっ子未来カンパニープロジェクトの実施

学校と企業や地域等が連携  
社会課題を解決する取組や体験活動

はまっ子未来カンパニープロジェクト

子どもたちの地域貢献や社会参画意識の向上

【まとめ】 将来課題を見据えた教育行政

横浜市では、大都市の総合力と 基礎自治体のきめ細かさをも  
柔軟に組み合わせた教育行政を推進

学校現場の適正化 | 安全・安心な教育環境の整備 | 多文化共生を推進した教育 | 子どもの豊かな心の育成 | 教職員の働き方改革

これからの課題・課題  
子どもの減少、地域のつながりの希薄化  
地球温暖化、大規模災害の発生  
外国人労働者の増加、多文化共生社会  
情報社会の進展、AIの進化  
学校の役割の拡大、適に応じた学びへの転換

将来を担う子どもたちのために、更なる教育の充実が必要  
行政だけでは抜本的な解決は困難であり、  
地域や企業・団体との連携・協働も必要不可欠

横浜市の 自分づくり教育



■次週の卓話

2/27 (水) 佐藤 利明 会員

週報担当 関口 友宏